

カトリック仙台司教区

東日本大震災救援・復興活動ニュースレター

発行人：平賀徹夫 編集：小松史朗
〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-2-12
カトリック仙台司教区事務局
Tel.022-222-7371 Fax022-222-7378
義援金振替口座：02260-9-2305
名義：カトリック仙台司教区本部事務局
支援金振替口座：00170-5-95979
カリタスジャパン

3. 11から早4ヶ月が過ぎようとしています。今も、義援金や励ましのメッセージが届いています。また、個人的、自発的に信徒同士のネットワークを通して、あるいは小教区単位、修道会単位で被災地支援を展開して下さっていることもたくさん報告されてきておりますが、こうした善意の活動のすべてを皆様にご報告できずしております。皆様からのご支援誠に感謝にたえません。

皆様にお伝えしなければならないことが山積みなのですが、力不足です。今回は、全国の教会が仙台教区をどのように支援して下さっているかについてご報告します。



↑ 仙台カテドラルにある仙台サポートセンター本部



↑ 初期の釜石ベースのボランティア

仙台教区から発した要請とは

仙台教区は、支援を申し出て下さったカトリック司教協議会に対し、仙台教区が打ち出した「新創造計画」への理解を求め、この計画のもと、下記の4項目の要請をいたしました。

1. 仙台教区サポートセンターの活動を推進するために人材を派遣してほしい：短期ボランティア、長期スタッフ、専門職スタッフ・ボランティア
2. 司牧面での人材を派遣してほしい：仙台教区の人事に併せて、①青森県大湊教会(1名)、②岩手県久慈教会(1名)、③同大船渡教会(1名)、④宮城県築館教会(1名)、同仙台中中央地区(2名)
3. 救援活動のための物資を息長く送ってほしい
4. 全国の教会が被災沿岸部で直接的な救援活動を実施してほしい

1. サポートセンターの活動ため
人材を全国の教会が派遣

3月16日、サポートセンターが立ち上がった直後から、自発的にボランティアに参加してくださったり、サポートセンターや仙台教区内の小教区や修道会、カトリック事業体への様々な緊急支援が行われました。本当に感謝しています。後になって、様々な支援が仙台教区内の教会や被災地に届けられていたことを知ることができました。一人ひとりの皆様に直接にお礼を届ける事ができません。この場を借りて御礼申し上げます。



←現地へボランティアとして来て下さった多くの修道会のシスターたちがサポートセンター訪問してくれています

すでに第2号でお知らせした通り4月9日からは日本女子修道会総長管区長会がベースを運営するためのスタッフを毎週継続して送り続けてくださっています。信者ではないボランティアの多くがこのシスターの存在と場を癒してくださる働きを高く評価してくれています。また、司教協議会を通じて行われた要請により、多くの教区が仙台のニーズへ応えるため各教区単位の「サポートセンター」を開設し、短期ボランティアやベース運営のための長期スタッフを送って下さいました。ボランティアさんは7月中旬までに2,000人を超えました。何度も来て下さるボランティアもおられ頭が下がる思いです。しかしながら、この被災者に直接関わっていただくボランティアを現地へ送り出すためのベース運営スタッフが足りません。この長期スタッフの派遣をよろしく願いいたします。

2. 司教協議会・男子管区長会
司祭を派遣

司教協議会は、日本カトリック管区長協議会とも協力し、仙台教区の要請に応じて、日本に三つある「教会管区」単位で6名の司祭派遣を司教総会で正式に決定しました。派遣に際しては、主に岩手県を長崎管区が、岩手県南部から宮城県北部を大阪管区が、そして宮城県南部から福島県を東京管区がカバーすることが申し合わされています。<第4号別紙;「仙台教区支援配置図」を参照>

これに先行する形で、3月から小さき兄弟会；塩田希神父が大船渡教会に派遣されておりました。9月末まで司牧支援をして下さいます。また、フランシスコ会は佐藤宝倉神父を6月の1ヶ月石巻教会に派遣して下さっておりました。東京教区は浦野雄二神父を仙台中中央地区に5月から派遣して下さっています。

7月からは、すでに男子管区長会が大湊教会の司牧を開始して下さっています。また、久慈教会には長崎管区から伊東成晃神父(福岡教区)が、築館教会には大阪管区から池田雄一神父(大阪教区)が着任しています。8月からは森田直樹神父(京都教区)が派遣され、8、9月は主に救援活動を支援し、10月から大船渡教会に着任する予定です。東京管区は残る1名を仙台中中央地区に派遣するべく検討してくださっています。

月1回開催されている仙台教区サポート会議風景。

4月8日、初回が開催された。司教協議会担当司教である菊地司教、さいたまサポートセンターより谷司教が訪問して当地の平賀司教、小松事務局長、仙台サポートセンターのスタッフが仙台教区支援のための会議を開いています。

7月29日の第4回会議から三管区の責任者も加わるようになりました。



3. 救援物資の支援は

現在、救援物資を大々的に要請するという方法は止めています。それは、お願いをしてそれが送られてくるまでに時間を要すること、また、必要な数を把握してスムーズに被災者に提供することが困難なためです。現地からの要請は急にきて、必要な時期も非常に限られており、タイムリーに供給するためにカリタスジャパンへの義援金を当て、被災地で集めてこれを供給する形を取っています。

今後、息長く支援していくために全国の教会に、特定の物資をお願いする時が来ると思いますので、準備ができ次第全国の教会宛要請しますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

カトリック仙台司教区 東日本大震災救援・復興活動ニュースレ

第4号別紙 2011年7月10日

発行人: 平賀徹夫 編集: 小松史朗
〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-12
カトリック仙台司教区事務局
Tel. 022-222-7371 Fax. 022-222-7378

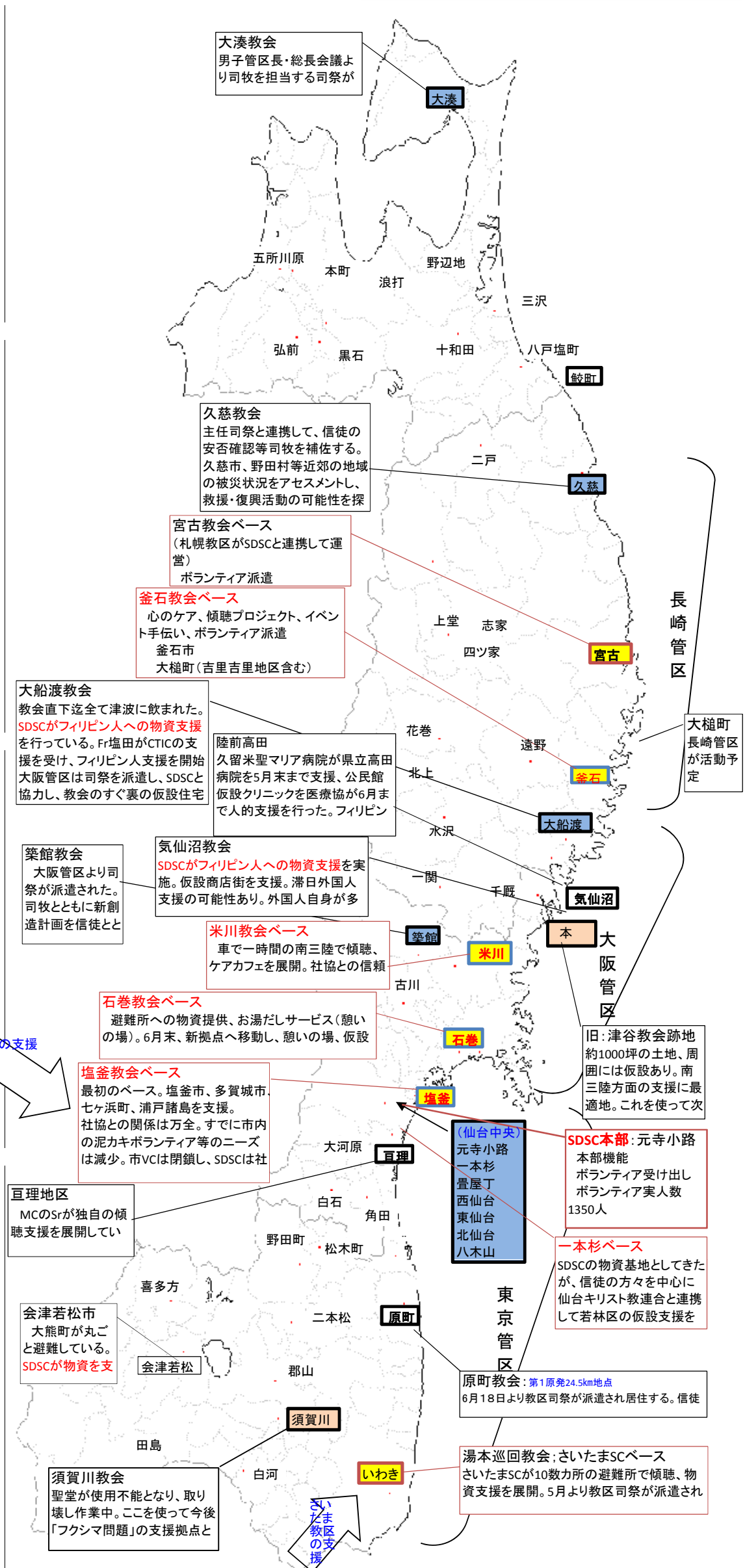
青森県		担当司祭	信徒数	主日ミサ	救援基地
		2011	2010	2010	派遣元
1	本町(松丘)	首藤正義	340	70	
2	浪打		327	70	
3	野辺地		12	8	
4	大湊	7月より開始、8月着任予定	80	12	男子修道会
5	十和田(五戸)	佐々木博	110	30	
6	弘前	ガブリ・ジャン	316	80	
7	黒石		16	10	
8	五所川原		49	9	
9	八戸塩田	横島健二	505	80	
10	鮎町		181	24	
11	三沢	レヴェイエ アンド	62	30	

岩手県		担当司祭	信徒数	主日ミサ	救援基地
		2011	2010	2010	派遣元
1	久慈	トマ・カルロ、伊東成晃神父: 福岡教区	35	12	長崎管区
2	二戸	ヴァレラ・ミゲル/佐藤修/エテメ・メンガ・エミル・ロドリグ/ツゲル・アントニオ(協力)	23	4	
3	上堂		103	20	
4	志家		208	60	
5	四ツ家		472	102	
6	宮古	デ・ラ・ロサ マルコ・アントニオ	86	15	●
7	花巻	佐藤修	87	20	
8	遠野	エンデルレ・マックス	59	12	
9	釜石	舟山 亨	67	20	●
10	北上	高橋 昌	86	20	
11	水沢		106	25	
12	大船渡	塩田望、森田直樹: 京都教区	109	20	大阪管区
13	一関	佐藤守也	175	50	
14	千厩		33	4	

宮城県		担当司祭	信徒数	主日ミサ	救援基地
		2011	2010	2010	派遣元
1	気仙沼	会津隆司/川崎忠紀	112	23	●
2	米川(大籠)		35	8	●
3	石巻		125	35	●
4	古川	川井啓	99	20	
5	築館(新生園)	池田雄一: 大阪教区	48	22	大阪管区
6	元寺小路	<応援2名:>	1188	500	●本部
7	一本杉	①浦野神父:	233	72	●物資
8	畳屋丁	東京教区>渡辺彰宏/ボル	234	46	
9	西仙台	デュック・エメ/ホセ・ゴンザレス	220	45	東京管区
10	東仙台		370	117	
11	八木山		189	45	
12	塩釜		237	70	●
13	北仙台	ラトゥール・レイモン	747	160	
14	大河原		132	30	
15	亘理	小野寺洋一	97	19	
16	角田		42	8	
17	白石		78	15	

福島県		担当司祭	信徒数	主日ミサ	救援基地
		2011	2010	2010	派遣元
1	原町	梅津 明生	173	15	
2	野田町	バヴェレット・トマス	204	55	
3	松木町(桑折)	ガイドムスキ・イェジ	635	160	
4	二本松	リゲンザ・スタニスワフ	106	15	
5	会津若松		293	70	
6	喜多方	板垣 勤	84	10	
7	南会津		36	8	
8	郡山	リゲンザ・スタニスワフ	406	110	
9	須賀川		30	15	
10	白河(矢吹)	田中丈夫	179	60	
11	いわき	フォリッシュ・チェスワフ/氏家和仁	533	110	●
12	(湯本)				
13	小名浜				

右図 凡例:
 枠線で囲われた小教区は当該地域の被害が大きいエリアであることを示す
 橙色枠線で囲われた小教区はベースを示す。内、赤文字表記はSDSC直轄のベースを示す



大湊教会
男子管区長・総長会議より司牧を担当する司祭が

久慈教会
主任司祭と連携して、信徒の安否確認等司牧を補佐する。久慈市、野田村等近郊の地域の被災状況をアセスメントし、救援・復興活動の可能性を探

宮古教会ベース
(札幌教区がSDSCと連携して運営) ボランティア派遣

釜石教会ベース
心のケア、傾聴プロジェクト、イベント手伝い、ボランティア派遣
釜石市 大槌町(吉里吉里地区含む)

大船渡教会
教会直下迄全て津波に飲まれた。SDSCがフィリピン人への物資支援を行っている。Fr塩田がCTICの支援を受け、フィリピン人支援を開始。大阪管区は司祭を派遣し、SDSCと協力し、教会のすぐ裏の仮設住宅

築館教会
大阪管区より司祭が派遣された。司牧とともに新創設計画を信徒と

気仙沼教会
SDSCがフィリピン人への物資支援を実施。仮設商店街を支援。滞日外国人支援の可能性あり。外国人自身が多

米川教会ベース
車で一時間の南三陸で傾聴、ケアカフェを展開。社協との信頼

石巻教会ベース
避難所への物資提供、お湯だしサービス(憩いの場)。6月末、新拠点へ移動し、憩いの場、仮設

塩釜教会ベース
最初のベース。塩釜市、多賀城市、七ヶ浜町、浦戸諸島を支援。社協との関係は万全。すでに市内の泥かきボランティア等のニーズは減少。市VCは閉鎖し、SDSCは社

亘理地区
MCのSrが独自の傾聴支援を展開している

会津若松市
大熊町が丸ごと避難している。SDSCが物資を支

須賀川教会
聖堂が使用不能となり、取り壊し作業中。ここを使って今後「フクシマ問題」の支援拠点と

(仙台中央) 元寺小路 一本杉 畳屋丁 西仙台 東仙台 北仙台 八木山

SDSC本部: 元寺小路
本部機能
ボランティア受け出し
ボランティア実人数 1350人

一本杉ベース
SDSCの物資基地としてきたが、信徒の方々を中心に仙台キリスト教連合と連携して若林区の仮設支援を

原町教会: 第1原発24.5km地点
6月18日より教区司祭が派遣され居住する。信徒

湯本巡回教会: さいたまSCベース
さいたまSCが10数カ所の避難所で傾聴、物資支援を展開。5月より教区司祭が派遣され

長崎管区

大槌町 長崎管区が活動予定

旧: 津谷教会跡地 約1000坪の土地、周囲には仮設あり。南三陸方面の支援に最適地。これを使って次

さいたま教区支援

新潟教区からの支援